

建設事業無災害表彰の伝達式を執り行い、受賞を称えました。

表彰事業場 荒井建設（株） 札幌支店
 工事名 濁川発電所 水車基礎他更新工事および関連除却工事
 発注者 ほくでんエコエナジー（株）



Arai



（工事概要）

○工期

令和6年7月1日～令和8年2月27日まで

○工事の目的

濁川発電所は、88年もの長期にわたって発電を継続しており、設備全体が老朽化が進行しているため、水車発電機の主要機器を更新するとともに、導水路、水圧鉄管、方須理路など水路工作物の一部も併せて更新する工事の内、土木工事の施工を行いました。

○工事概要

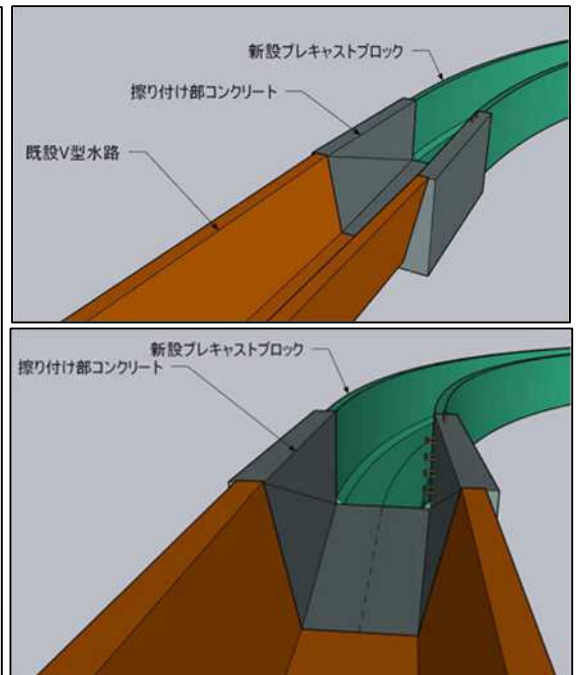
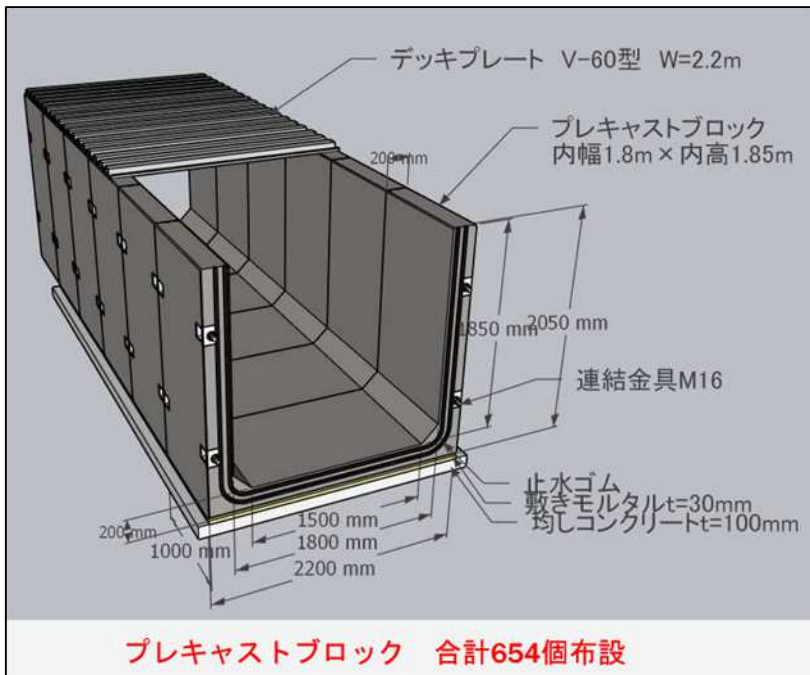
導水路改修工事：導水路全延長 L 2,010mの内、素掘り区間 L 650mをコンクリート開渠へ改修しました。

水圧鉄管更新工事：経年劣化により板厚減少等が進行している水圧鉄管（L 20m）を更新しました。

水槽補強工事：現状設備の耐久性を向上させるため、一部補強しました。

発電所基礎工事：新しい発電機設置のための発電所内床の補強などを行いました。

放水路改修工事：放水路全延長 L 21mの内、L 15mを撤去し、新しく L 7mを再構築しました。



(安全衛生活動の好事例)

○移動式クレーンを用いた作業

プレキャストブロックと呼ばれる導水路用の据え付け部材を、移動式クレーンによってつり上げ、掘削箇所へ埋設します。移動式クレーンによって安全にプレキャストブロックをつり上げるため、可能な限り作業半径を抑え、安全率を高くするよう計画しました。この計画を遂行するために、作業道路を造成したり、ドローンによる空撮により木々の様子を確認したりする必要がありました。

○埋設作業

プレキャストブロックを埋設する際は、作業者が掘削面に立ち入る必要があります。土砂崩壊を防止するため、十分に緩やかな傾斜を造成した上で作業を行うよう徹底しました。

また、移動式クレーンを適宜移動させ、作業半径を可能な限り抑え、移動式クレーンの転倒や土砂崩壊による重大な労働災害を防止するよう徹底しました。

建設事業無災害表彰は、労働者災害補償保険の保険料（概算又は確定）の額が160万円以上の建設工事現場において、その工期中に労働災害を発生させていない事業場からの申請により、厚生労働省労働基準局長名による表彰状を授与するものです。